

令和7年度 長崎市立西山台小学校 学力向上プラン

【第5次総合計画】

「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」
個別施策G1-1
「確かな学力の向上を図る」

【長崎市教育振興計画】

2 確かな学力の向上

【小中9年間を通して育てたい子ども】

- 学ぶ意欲があり、学習習慣を身につけている子ども
- 基礎的・基本的な知識や技能を身につけている子ども
- 自分の考えをまとめ、表現できる子ども
- 学んだことを活用し解決方法を導くなど、問題解決力を身につけている子ども

【成果指標】

全国学力・学習状況調査の結果で全国平均以上の項目の割合
目標値 75%

【合い言葉】

「チーム Nagasaki」
徹底・継続で子どもは伸びる

【学校教育目標】

心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成

【めざす子ども像】

- 進んで学び、自分の考えを表現できる子ども
- 礼儀正しく、思いやりのある子ども
- 体を鍛え、粘り強い子ども

【校内研究を通した学力の向上】

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランス
 - ・個に応じた支援
 - ・学習訓練（学習規律）の徹底
- 「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業」の充実
 - ・問題解決的な学習過程における授業づくり
 - ・良さを認め合う雰囲気の醸成
 - ・落ち着いて集中できる教室環境づくり
 - ・視覚化（ICTの活用）の推進。
 - ・低位の子どもへの手立てと教師の称賛
 - ・校内支援体制の充実
- 一人一台端末の活用
 - ・キュビナの活用推進（宿題、自学等で100問/週）
※2学期中は移行期間（低40問、中60問、高80問）
- テストのやり直しの充実
 - ・テストの記録と100点になるまでやり直し

【基礎・基本の確実な定着】

- ・教科書問題の完全実施とチェック
- ・「習熟の時間」の授業時間内確保（反復と評価）
- ・チャレンジタイムの充実
- ・家庭と連携した音読指導
- ・読書指導の強化（年間冊数：低100・中80・高50）
- ・規則的、継続的な家庭学習の取組
- ・TTの充実

【あじさいスタンダードを参考にした授業づくり】

- ・西山台スタイルの徹底指導
- ・めあてからまとめまでの板書の構造化
- ・的確な発問や指示
- ・書く活動を重視する授業

【思考力・表現力・活用力の育成】

- 教育活動全般における言語活動・体験活動の充実
- 授業での話合い活動の充実
- 明らかになった各学年・学級の弱点について、集中的に指導し克服を図る。
- 各教科等における資料活用能力の育成
- 発展的な学習への取組

【6年生 全国学力・学習状況調査からみた児童の実態（課題）】

- 1 国語
 - 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。（読むこと）
 - 事実と感想、意見などの関係を叙述を基におさえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握することができる。（読むこと）
- 2 算数
 - 分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が共通する単位分数の幾つかを数や言葉を用いて記述できる。（数と計算）
 - 目的に応じて、適切なグラフを選択して、出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。（データの活用）
 - 数直線上で、一つの目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つかとしてとらえることができる。（数と計算）

【5年生 県学力調査結果からみた児童の実態（課題）】

- 1 国語
 - 理由を明確にして、書き表し方を工夫する。（書くこと）
 - 登場人物の気持ちが変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する。（読むこと）
 - 登場人物の気持ちの変化したきっかけを叙述をもとに捉える。（読むこと）
 - 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。（知識及び技能）
- 2 算数
 - 表の数値の間の関係から、□と○を用いた式に表し、変化の特徴を考察することができる。（変化と関係）
 - 示された場面をもとにして、倍の求め方を記述できる。（数と計算）
 - 基準量、比較量を捉え、数量の関係を図を用いて適切に、表現することができる（変化と関係）
 - データを二次元の表に分類・整理することができる。（データの活用）